資料 1

吉田川流域治水部会について

【開催趣旨】

吉田川とその北側に広がる丘陵地に囲まれた旧品井沼周辺の低平地は、古くから水害に悩まされ、これを克服し、誇りあるまちづくりに取り組んできた地域です。この地域では、昭和 61 年 8 月洪水での甚大な浸水被害を教訓として、地域が大洪水に陥っても被害を最小化する「水害に強いまちづくりモデル事業」を実践してきました。このモデル事業は、二線堤の構築やハード・ソフト対策を関係機関と地域住民が一体となって実施する、現在の「流域治水」の考え方を先取りした取り組みでした。

今般、令和元年東日本台風により、再び甚大な浸水被害が発生したことから、大崎市、松島町、大郷町、鶴田川沿岸土地改良区、宮城県、国土交通省で「水害に強いまちづくりモデル事業」の検証と課題整理を行い、『吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」』としてとりまとめました。

吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」を推進する上では、気候変動により水害が激甚化・頻発化している昨今の状況を踏まえた治水対策の実践が求められます。そのためには、このプロジェクトを取りまとめたメンバーに加え、流域のあらゆる関係者が協働して、ハード・ソフト一体で多層的に進める「流域治水」の推進が重要です。

本部会では、これまでも地域を”みず”から守り、誇りあるまちづくりに取り組んできた吉田川流域で実践する流域治水を、「吉田川から全国へ」との合言葉で、吉田川モデルとして発信し、我が国の流域治水を先導することを目指します。

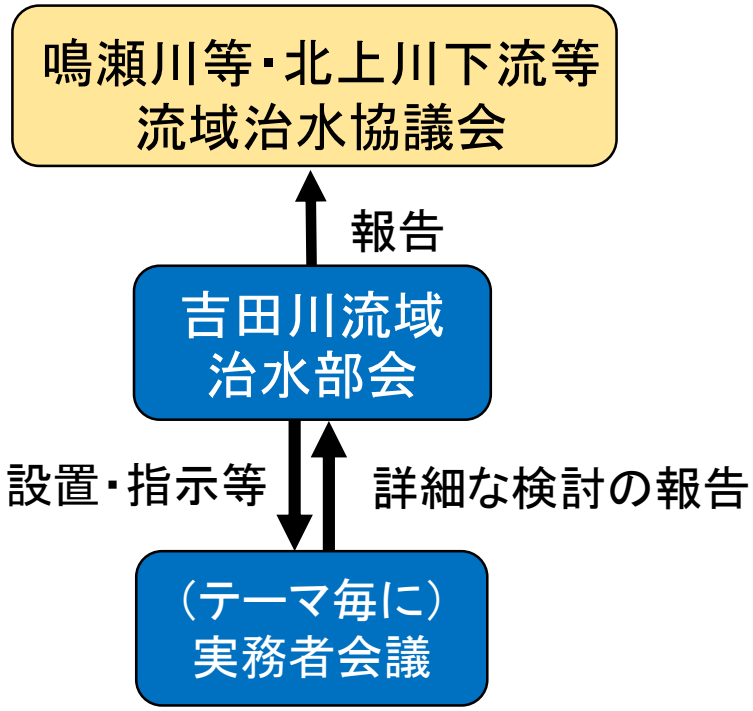
吉田川流域治水部会の設置について

○「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」を踏まえ、吉田川の流域治水を具体的かつ機動的に議論・検討するために、「鳴瀬川等・北上川流域等流域治水協議会」の下に「吉田川流域治水部会」を新たに設置。

○ メンバーの構成は、流域治水協議会から吉田川流域に関係する委員で構成。

○ 必要に応じて、テーマ毎に部会の下に実務者会議を設置し、課題解決に向け検討。

○ 部会の検討結果は、協議会に報告することで共有。



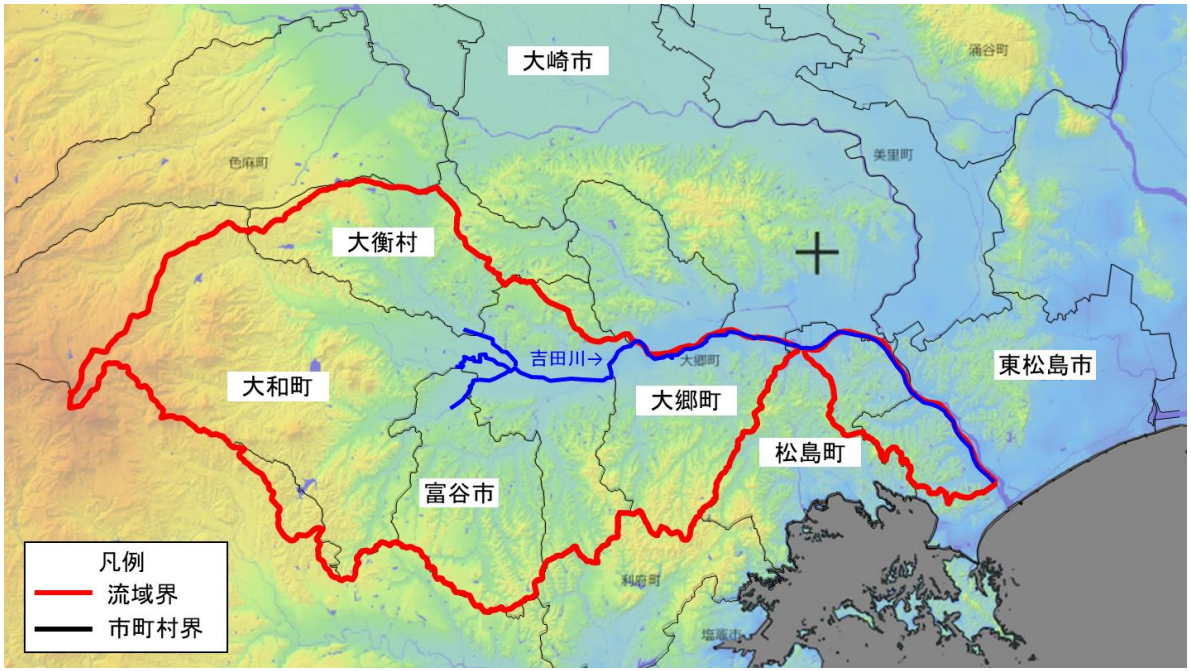
検討項目

- 将来起こりえる災害を見据えた対策目標の設定
- 流域視点での合意形成と、地域の特性に即した効果的な施策の立案
- あらゆる対策を迅速かつ確実に実施するための事業方策の具体化

吉田川流域治水部会の設置について

＜構成員＞

- 東松島市長
- 大崎市長
- 富谷市長
- 松島町長
- 大和町長
- 大郷町長
- 大衡村長
- 宮城県　土木部長
- 宮城県　農政部長
- 宮城県　水産林政部長
- 宮城県　北部土木事務所長
- 宮城県　仙台土木事務所長
- 宮城県　仙台地方ダム総合事務所長
- 鶴田川沿岸土地改良区　理事長
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター　東北北海道整備局長
- 農林水産省　東北農政局　北上土地改良調査管理事務所長
- 林野庁　東北森林管理局　宮城北部森林管理署長
- 気象庁　仙台管区気象台　気象防災部長
- 国土交通省　国土地理院　東北地方測量部長



＜事務局＞

- 国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所　調査課

「吉田川流域治水部会」規約（案）

（設置）

第1条　鳴瀬川等流域治水協議会（以下「協議会」）の下に、「吉田川流域治水部会」（以下「部会」）を設置する。

（目的）

第2条　本部会は、協議会の取組の一環として、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を推進するとともに、吉田川流域における流域水害対策について検討することを目的とする。

（部会の構成）

第3条　部会は、別表1の職にある者をもって構成する。

2　部会の運営、進行及び招集は事務局が行う。

3　事務局は、必要に応じて別表1の職にあるもの以外の者（学識経験者等）の参加を部会に求める事ができる。

（実務者会議の構成）

第4条　事務局は、部会構成員の同意を得て、必要に応じて部会の下に実務者会議を置くことができる。

2　実務者会議の運営、進行及び招集は事務局が行う。

（部会の実施事項）

第5条　部会は次の各号に掲げる事項を実施する。

2　吉田川流域で行う流域治水の全体像を共有・検討する。

3　吉田川流域で将来起こり得る災害を見据えた対策目標を設定する。

4　流域視点での合意形成と地域の特性に即した効果的な施策を立案する。

5　あらゆる対策を迅速かつ確実に実施するための事業方策の具体化する。

6　部会での検討や実施結果を協議会へ報告する。

7　その他、流域治水に関して必要な事項の実施。

（部会の公開）

第6条　部会は原則として非公開とする。協議会へ報告することにより公開と見なす。

（事務局）

第7条　部会の庶務を行うため、事務局を置く。

2　事務局は北上川下流河川事務所調査課が行う。

（雑則）

第8条　この規約に定めるもののほか、部会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、部会で定めるものとする。

（附則）

第9条　この規約は、令和4年〇月〇日より施行する。

別表1

吉田川流域治水部会　構成員

東松島市長
大崎市長
富谷市長
松島町長
大和町長
大郷町長
大衡村長
宮城県　土木部長
宮城県　農政部長
宮城県　水産林政部長
宮城県　北部土木事務所長
宮城県　仙台土木事務所長
宮城県　仙台地方総合ダム事務所長
鶴田川沿岸土地改良区　理事長
国立研究開発法人森林研究･整備機構森林整備センター　東北北海道整備局長
農林水産省　　東北農政局　北上土地改良調査管理事務所長
林野庁　東北森林管理局　宮城北部森林管理署長
気象庁　仙台管区気象台　気象防災部長
国土交通省　国土地理院　東北地方測量部長

（事務局）
北上川下流河川事務所　　調査課